

下西委員（公明党）

令和5年3月2日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）教育現場における生徒指導の考え方について

生徒指導について、教員の一方的な指導とならないよう、特段の配慮が必要と考えるが、教育委員会として、教育現場において、どのような考え方で生徒指導を行っているのか、教育長に伺う。

（答）

児童生徒を指導する際には、教員の一方的な指導とならないよう、教員と児童生徒との信頼関係を基盤とし、児童生徒に自己存在感を実感させることが大切であると考えております。

こうした生徒指導の考え方につきましては、全ての初任者や臨時的任用の教員を対象とした研修の外、年2回実施している生徒指導主事研修において、繰り返し指導しているところでございます。

とりわけ、校則につきましては、指導基準や指導方法が、現在の社会情勢に合っているのか等について、児童生徒だけでなく、保護者や地域住民の皆様、企業や大学職員等の意見を聴く場を設けるなど、モデル的な手法に取り組んでいる学校もございます。

県教育委員会といたしましては、こうした取組を各県立学校に紹介する中で、生徒指導や校則が人権に配慮したものになるよう、引き続き、各学校を指導してまいります。